

事業所の技術確認書2通・2002年2月6日

オフロード車のエンジン： 圧縮圧力の上昇が再現し、 走行後も維持

ハバロフスクエネルゴ自動車輸送事業所公開株式会社、ハバロフスク・技術確認書署名者：上級職長A.N.ノヴィコフ、修理工場長、XADOコーポレーション代表者

ロシア、ハバロフスク・技術確認書2通とも2002年2月6日付、処理前および確認走行後の測定

製品

XADOの技術
分解不要のエンジン再生修理

試験対象

オフロード車2台のエンジン
MITSUBISHI CHALLENGER・
TOYOTA LAND CRUISER・ピス
トン・シリンダ部

文書の種類

事業所の
技術確認書
役職者の署名および押印付き

車両	測定項目	再測定までの走行距離	技術確認書の日付
MITSUBISHI CHALLENGER	気筒別圧縮圧力 (kgf/cm ²)	1,500 km	2002/02/06
TOYOTA LAND CRUISER	気筒別圧縮圧力 (kgf/cm ²)	3,000 km	2002/02/06

両車両とも事業所の保有車両であり、通常の運用を続けた。再測定は処理直後ではなく、確認走行後に実施した。

両車両で再現した結果

↑ **6.9-16.7 %**

MITSUBISHI CHALLENGERの気筒別圧縮圧力、12.0～12.5 → 14.0～14.5 kgf/cm²

↑ **6.9-16.7 %**

TOYOTA LAND CRUISERの気筒別圧縮圧力、35.0～36.0 → 38.5～39.0 kgf/cm²

気筒別圧縮圧力：処理前と確認走行後

車両	気筒	処理前 (kgf/cm ²)	処理後 (kgf/cm ²)	変化率
MITSUBISHI CHALLENGER	No.1	12.5	14.5	+16.0%
MITSUBISHI CHALLENGER	No.2	12.0	14.0	+16.7%
MITSUBISHI CHALLENGER	No.3	12.5	14.0	+12.0%
TOYOTA LAND CRUISER	No.1	36.0	39.0	+8.3%
TOYOTA LAND CRUISER	No.3	35.0	38.5	+10.0%
TOYOTA LAND CRUISER	No.4	36.0	38.5	+6.9%

XADO技術による再生修理の前に測定し、確認走行後に再測定した。両測定とも事業所の修理工場長および上級職長の立会いのもとで実施した。

技術確認書2通の結論

ハバロフスクエネルゴ自動車輸送事業所公開株式会社の技術確認書2通は同日に署名されたものであり、異なる車両に対する同一の作業を記録している。すなわち、分解せずに行うXADO技術によるエンジンの再生修理、処理前の圧縮圧力測定、確認走行後の再測定である。MITSUBISHI CHALLENGERでは測定した各気筒の圧縮圧力が**12.0～16.7%**、TOYOTA LAND CRUISERでは**6.9～10.0%**上昇し、低下した気筒はなかった。この増加量は圧縮圧力の水準が異なる2基のエンジンで得られ、処理当日ではなく、通常運用で**1,500**および**3,000 km**走行した後に確認された。これは、再生したピストン・シリンダ部の気密性が走行後も維持されていることを示す。圧縮圧力はメーカー標準値が上限となる。増加はこの値に向かって進み、この値で頭打ちとなるため、変化は倍ではなくパーセント単位で表れる。測定は事業所の役職者の立会いのもとで実施され、技術確認書2通とも押印されている。

XADO

© XADO。すべての権利を留保する。

本結果は、ハバロフスクエネルゴ自動車輸送事業所公開株式会社が保有する上記オフロード車のエンジンおよびその使用条件におけるものであり、他の車両や運転条件では測定値が異なる場合がある。署名・押印のある技術確認書2通の原本は全文を公開しており、ダウンロード可能である。